

第7次基山町行政改革への提案

近年は、IT技術の急速な進化や新型コロナウイルスの影響、異常気象などによって世界的にも変化の度合いが増し、取り巻く環境の複雑さと将来予測の困難性が増加する状況にあります。そのため、既存の価値観や様々なスタンダードなどが通用しない大きな変革の時代を迎えています。

本町においてもこの変化を敏感に捉え、臨機応変に速やかな順応を図ることが重要です。また、将来にわたり地域社会の持続的発展を続けるためには、前例を踏襲するだけでなく、改革効果の高い事業へ注力するという選択が必要となります。

そこで、これまでの行政改革での取組を抜本的に見直し、町民生活に必要な公共サービスを効果的に提供するため、行政改革の推進に向けて次の事項を提案します。

【提案内容】

1. 住みたいまち基山の創造

(1) 内容

超少子高齢化が進んでいる基山町において、生産年齢人口の減少は、税収の減少と社会保障費の増大により町財政に大きな影響を及ぼしている。一方、ここ数年は様々な施策により人口減少に歯止めがかかり微増してきている。今後もこれまでの取組を継続しつつ、住みよいまちづくりに取り組み、更なる人口増加を図る。

(2) 主な取組内容

- ・ 移住促進に係るPR推進
- ・ 都市計画区域の変更による開発可能区域の確保
- ・ 子育て支援による移住定住の促進
- ・ 空き家対策による移住定住の促進
- ・ 企業誘致による雇用確保
- ・ 農業、産業、工業の育成
- ・ 教育環境の充実

2. 質の高い行政サービスの提供

(1) 内容

複雑化する行政需要に対応するためには、これまでの取組を継続するだけでなく、町民の行政に対するニーズを的確に把握し、限られた資源でより効果的に町民にサービスを提供するために質の向上を図る。

(2) 主な取組内容

- ・窓口業務のサービス向上
- ・子育て支援の推進
- ・高齢者福祉の推進（ひとり暮らしの高齢者対策を含む）
- ・情報発信の推進
- ・地域公共交通の利便性向上

3. 町民の参画と協働のまちづくり

(1) 内容

町の行政運営を取り巻く環境は厳しさを増しており、今後も継続して事業の見直しを行い、合理的で効率的な運営に努める必要がある。そのためには、地域における課題を把握し、その問題の解決に向かっていくために積極的な活動を行う個人や団体等を支援し持続可能な地域社会を形成していく。

(2) 主な取組内容

- ・地域組織、NPO等によるまちづくり活動の促進
- ・多文化共生社会の推進
- ・協働の手法による適切な町民ニーズの把握

4. 持続可能な財政運営の実現

(1) 内容

厳しい財政事情が続く中、町民の生活に必要な公共サービスを継続的に提供するため、確実な収入や自主財源の確保、支出の適正化、財政の健全化等について取り組む。

(2) 主な取組内容

- ・税収入等の確保
- ・自主財源の確保
- ・中長期財政計画の随時見直し
- ・公共施設等総合管理計画、舗装維持管理計画の随時見直し
- ・補助金等に関する支出の適正化
- ・各保険に係る給付の適正化
- ・事業実施時における国庫補助制度等の積極的活用

5. 組織の構築と施策の推進

(1) 内容

多様化する行政課題に効果的・効率的に対応するため、職員育成や業務効率の改善、災害等への危機管理の徹底等に取り組む。

(2) 主な取組内容

- ・業務実施能力の高い組織体制の確立
- ・効果的な職員の配置
- ・人員の確保と育成
- ・民間企業の活用
- ・広域行政の推進
- ・事業評価の確立
- ・業務効率向上のためのDX推進
- ・環境対策
- ・災害等（新型コロナウイルス等を含む）への備え

【附帯意見】

1. バランスのとれた学校区（規模の適正化）を検討されたい。
2. 児童生徒の学力向上について検討されたい。
3. 高齢者の買い物支援について検討されたい。
4. 民間企業等と連携し、交通の利便性向上に努められたい。

令和 4 年 11 月 30 日

基山町行政改革懇談会

会 長 尾石清孝

副会長 田口英信

委 員 原 憲一

委 員 水 田 入 男

委 員 中 村 真 智 子

委 員 内 山 順 子

委 員 宮 本 浩 子